

雲の上のチョウ達

津軽白神森林生態系保全センター 専門官 有本 実

夏山シーズン最盛期の6～8月、森林限界を越えた稜線上にチョウ達がやって来ます。普段は里山で見かけるチョウ類が、種によっては私達が登山するかの様に高山帯まで飛来してくるのです。今回は私が登山中に見つけたチョウ類を3種類、ご紹介します。

松川温泉から鬼ヶ城経由で岩手山に登るルート上①で、クジャクチョウが度々姿を見せました。瓦礫がむき出しになった登山道上で日光浴をされていて②、気付かずに歩いて行くと突如足下から飛び立ち驚かされます。クジャクの尾羽の様な目玉模様が特徴的なこのチョウは、東北の夏山では特に多く見られます。

岩手県側から登る和賀岳は、登山口から一度和賀川に下って徒渉した後に登り返す長丁場ですが、稜線一帯に広がる原生的な花園を見れば疲れが吹き飛びます③。山頂ではオオミドリシジミのオスが数匹、翅を広げて占

有行動をとっていました④。幼虫がミズナラの葉を食べるため、山麓で羽化したものが吹き上げられてきたのかもしれない。

早池峰山頂直下の御田植場、標高1890m付近⑤でコツバメ⑥を見つけた時は驚きました。このチョウは平地では年に1回、春先に出現するのですが、撮影年月日は2013年6月24日。この時期に翅が新鮮なところを見ると、どうやら高山帯で繁殖しているようです。茶褐色の翅裏を太陽に向けて日光浴する習性があるため、滅多に翅を開きませんが、翅の表側はほんのり瑠璃色がかっていて奥ゆかしいチョウです。

夏山登山の魅力とは？ 一百花繚乱の高山植物！山頂からの絶景！テントで呑むビール！…答えは人それぞれでしょうが、高山に舞うチョウ達との出会いも大きな魅力です。今度夏山に登られる際は、ぜひ雲の上のチョウ達を探してみてください。



①岩手山



③和賀岳



⑤早池峰山・御田植場



②クジャクチョウ



④オオミドリシジミ♂



⑥コツバメ